

櫛引地区行政代執行工事現場の PFOS 及び PFOA の水質測定結果について

1 経緯

市では、中核市移行に伴い、青森県が実施した櫛引地区行政代執行工事現場の監視を行っており、その一環として、周辺地下水のモニタリング調査も実施している。

今回、全国的に報道されている PFOS 及び PFOA への関心の高まりから、専門家から助言を得て、周辺環境への影響を把握するため PFOS 及び PFOA の測定を実施した。

2 測定結果（数値は速報値）

○試料採取日 令和 7 年 4 月 23 日

○委託業者 エヌエス環境株式会社八戸営業所

地下水モニタリング井戸※ ¹	PFOS (ng/l)	PFOA (ng/l)	合計値※ ² (ng/l)	暫定指針値
No. 21（現场上流井戸）	2.5 未満	2.8	5	50
No. 2（現場直近井戸）	8.6	540	540	
No. 26（現場下流井戸）	4.8	50	54	
No. 5（現場最下流井戸）	2.5 未満	2.5 未満	5 未満	

※¹ 測定井戸の場所は別図 1 参照。

※² 調査結果は端数処理しているため、「PFOS+PFOA」の値は必ずしも合計値とは一致しない。

3 今後の対応

水質測定の結果から、暫定指針値以上の PFOS 及び PFOA の発生源としては当該現場が想定される。

しかしながら、現場直近及び下流井戸（No. 2、No. 26）で暫定指針値を超過したものの、下流井戸（No. 26）において暫定指針値付近まで測定値が低減していること。さらに、最下流井戸（No. 5）においては暫定指針値を下回っており、且つ市が把握する下流側の民間所有井戸まで 500m 以上距離が離れている（別図 2 参照）ことから、現時点では影響範囲は限定的であり、直ちに市民の生活に影響を与えるものとは考えにくい。

今回の測定結果については、県に情報提供するとともに、今後は、廃棄物の専門家に助言を求めながら定期的にモニタリングを実施し、現場の動向を監視していく。

なお、八戸圏域水道企業団で公表している令和 5 年度版水質年報によると、馬淵川の水道原水及び浄水の濃度はいずれも不検出となっている。

参考 櫛引地区行政代執行工事現場の概要について

経緯

現場は、産業廃棄物処分業許可業者（以下、「原因者」）が自らの敷地に産業廃棄物を大量に放置した事案であり、青森県が原因者に対し平成 11 年より指導を行ってきた。

しかし、度重なる指導に対して原因者が改善することはなく、県は将来的に生活環境保全上の支障が生じるおそれがあると判断し、中核市移行前の平成 28 年に行政代執行により、廃棄物への雨水の浸透及びそれに伴う有害物質の溶出を防止するための措置として、廃棄物の上面に遮水シートでキャッピングを行った。

平成 28 年 2 月 5 日に行政代執行に着工、平成 28 年 12 月 26 日に工事完了している。

青森県は行政代執行の実施主体であるが、現場の管理は原因者が行うのが原則である。また、中核市移行後は、市が代執行現場の監視等を行うこととなり、地下水のモニタリングや壁面パネルの点検等を実施している。

業務名 平成26年度 汚染源調査業務第4号委託
業務場所 青森県八戸市大字権引地内
縮尺 1:500

別図1



